

大会名：第 24 回関東パラ陸上競技選手権大会報告

去る、7月6日（土）・7日（日）に町田市立陸上競技場で第 24 回関東パラ陸上競技選手権大会が開催されました。日本パラ陸上競技選手権大会やジャパンパラリンピック陸上競技大会に続く、国際大会基準の WPA 公認大会として実施されました。2020 東京パラリンピックまで残すところ約 1 年ということも起因してか選手 370 名のエントリーがありました。



天候は、小雨が降り続き時折突風が吹くという、選手にとっては大変厳しい競技環境でしたが、2020 東京パラを目指す選手たちは、それぞれに最大限の調整を行い競技に果敢に取り組んでいました。

今回の大会では、T34 クラス 100m、T63 クラス 100m、T54 クラス女子 100m の各種目で予選が実施され、競技人口が増加し

選手層が厚くなりつつある状況が見られ喜ばしいと感じました。また、若年選手の出場も目立ち、2020 東京パラリンピック開催の影響も想像されました。

開催地は関東と遠方ではありましたが、九州パラ陸上競技協会の選手も多く出場し、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しているようでした。

パラ陸上では、近年、肢体不自由者のみでなく知的障害者も多く出場するようになり、そういった点からもパラ陸上競技人口が増加しているのかもしれませんが。



また、競技場の周辺では、体験ブースが設けられており、競技用車いすや競技用義足などを多くの方々が興味深げに体験したり質問したりと、パラ陸上に対する関心度の高さを感じました。